

関連事業収入の増加

健全化計画策定検討委員会からの提言

広島高速交通㈱における運輸雑収入は、平成10年度をピークに落ち込んでいることから、この減少傾向に歯止めをかけ、増収に向けた取り組みが必要である。

駅（スペース）の有効活用

既存広告枠の販売強化と新規広告媒体の開発

当社の営業収益に占める運輸雑収入の割合は、他社と比較しても大きな規模であり、貴重な収入源のひとつとなっているが、現下の社会経済情勢、規制緩和の流れの中では、今後、さらに減収が続く可能性も予想されるため、提言において指摘されたとおり、これを増収に転じさせる方策を次のとおり積極的に展開していく。

駅（スペース）の有効活用

- ・ 駅の窓口を「売店」として活用
各種チケット販売代行業務や写真・クリーニング・宅配便の中継業務など
- ・ 駅の空きスペースの有効活用方法を検討
 - 休息所兼自動販売機スペースとして活用
 - 需要に応じたA T M等の生活関連施設の設置
 - 移動式の店舗設置による営業
 - フリー本棚の設置や絵画展等、新たな情報発信や文化の提供の場としての活用

既存広告枠の販売強化と新規広告媒体の開発

- ・ 料金プランの多様化等による既存広告枠の販売強化
広告代理店との綿密な情報交換と営業活動のさらなる強化
- ・ 新規広告媒体の開発
屋外広告物条例等の各種規制緩和の動向を踏まえたうえで、車両本体へのラッピング広告や、駅舎内外・アストラムカードへの広告掲出などを検討